

# 専修大学LLだより

## 目次

### 特集 留学のすすめ

メキシコ留学で出会った人たち（経済学部 狐崎知己）……………	2
ブリストル留学記（イギリス）……………	3
メキシコ留学に行って……………	3
留学のすすめ（アメリカ）……………	4
平成15年度長期交換留学プログラム第2期募集要項……………	4
私の留学体験記（フランス）……………	5
平成15年度長期交換留学プログラム第3期募集要項……………	5
LLインフォメーション……………	6
（「ボランティア通訳検定試験セミナー」開催のお知らせ・新着教材・その他）	



## LL 研究室

## メキシコ留学で出会った人たち

メキシコに留学したのは 20 年以上も前になるうえ、都合の悪いことは忘れやすいという我ながら得な性格をしているためもあって、あの頃の記憶はずいぶん美化されて残っているに違いない。留学談には面白バージョンから真面目バージョンまで様々あるが、面白版は酒でも酌み交わしながら語るにふさわしいだろう。

最近は何に 5、6 回も中南米に出かけるが、初めて海外にでた大学 2 年次のあの夏の感動を追体験することは決してできない。行き先はメキシコだった。習いたてのスペイン語を試しに、一人旅にでてみた。ロス発メキシコ行きの深夜便が目的地上空に差しかかる頃、ちょうど夜明けを迎えることになる。隣には先住民の血が色濃い年配の女性が座っていた。「Amaneciendo」「夜明けだね」。心の中で練習を繰り返した後、たった一言、声をかけてみた。

まったく見ず知らずの人たち、老若男女を問わず、たくさんの人たちが自分に興味をもって貧弱なスペイン語に耳を傾け、応答してくれる。何の肩書きもなしに、人と人が交わり、自分が本当に大切にされると感じる。メキシコの人たちの底知れぬ包容力と暖かさに触れ、この国をもっと知りたいという強烈な思いを抱いて帰国した。そして、メキシコ政府の給費留学試験を目指して猛烈に勉強し、合格した。

1980 年代初頭のラテンアメリカ政治は大荒れだった。ニカラグアではサンディニスタ政権を潰しに米国政府が反政府ゲリラを訓練する一方、エルサルバドルでは左翼ゲリラが総攻撃をしかけ連日、多数の死者がでていた。グアテマラでは人権弾圧を国際世論に訴えるためスペイン大使館に立てこもった農民や学生 30 数名を特殊部隊が何のためらいもなく攻撃し、大使館職員もろとも焼き殺していた。

留学先のメキシコ国立自治大学(UNAM)

政治社会学部は、中米ゲリラ運動の支援拠点のひとつで騒然としていた。3 ヶ月間のストの末、授業は再開されたものの、比較政治学の教員自ら「俺の講義なんか聞くより、サンディニスタの支援デモに行ってみよう」という具合だった。ゼミの仲間とハイキングにでても必ず議論が始まる。「どうしたら革命運動の役に立てるのか」。4 年前、ある国際会議で当時ゲリラ運動に身を投じた仲間に偶然再会した。国会議員になっていた。

下宿先の同居人たちも凄まじい経験をしていた。アンゴラ戦争から戻ったばかりのキューバ人医師と看護婦は肉弾戦の模様を語り、34 歳になるエルサルバドルからの政治亡命者は政府軍が親族を皆殺しにするなか、井戸に身を潜めなんとか生き延びたという。彼の紹介でクリスマスを共に過ごすことになったエルサルバドル人の亡命集団は、女性と子供が大半だった。男はゲリラ兵士として闘っているか、さもなければ殺害されていた。

1 年間「留学」はしたものの、結局、単位はひとつも取れなかった。だが、先進国の都市中産階級出身の 20 歳そこそこのナイーブな若者は、日本では決して得ることのできない、もうひとつの世界観を身につけた。

経済学部 狐崎知己 (国際関係論)



生田 LL テープライブラリー、神田 LL 自習室に留学関係の雑誌を用意しています。利用して下さい！

## ブリストル留学記(イギリス)



海外経験が全く無かった私は、出発前、楽しい生活だけを想像していました。

イギリスに着いた瞬間から、辛い日々が始まりました。これ

まで日本しか知らなかった私が、突然言葉も文化も異なる環境に身を置く事になったのです。それまでの人生で、人と会話ができなくて困ることがあるとは考えたこともありませんでした。

すぐに夏の語学コースが始まりました。様々な国から来た留学生の流暢な英語を目の当たりにし、次第にクラスの中で発言するのが恐くなりました。様々な思いの中で、涙を流す日々が続きました。そんな私を励ましてくれたのが、先生方、クラスメイト、そして共に留学した大房さんでした。そこで私は、一歩ずつ自分のペースで頑張ることを決意しました。努力するに連れて、多くの人と会話ができるようになるのが何よりうれしかったです。語学コースが終わりに近づいた時、私は担任の先生に秘密で週一度行なわれるゲストレクチャーの司会に立候補しました。本番、消極的でクラスで発言できなかった私が、数百人の前で司会を務める程成長した姿を見た先生は、興奮と感動が入り混じった様子で、涙を浮かべていました。

十月から大学が始まり、経済学部にて籍を置きました。フラットメイトもクラスメイトもイギリス人という生活に変わりました。話のスピードについていけず、理解に苦しみました。しかし、日本語を学ぶ学生との出会いが、私の生活を変えました。日本語と英語を交換する事によって、私の英語力が再び伸び始めたのです。あっという間に時が過ぎ、三つのエッセイを書き、無事 Term を終了しました。

帰国の日、多くの友人が私と大房さんを見送りにコーチステーションに来てくれました。彼らに別れを告げる悲しさと、やり遂げたという達成感から、涙が止まりませんでした。この留学は、私の人生観と価値観を大きく変えてくれる貴重な経験となりました。

経営学部 4年 吉原光美



## メキシコ留学に行って



僕は、昨年の6月から今年の5月まで約1年間、専修大学の協定校であるメキシコのイベロアメリカーナ大学に留学しました。今までも、この大学との短期留学プログラムはありましたが、1年間の長期留学は去年から始まったばかりということで、僕はその第一期

生ということでした。

メキシコに行く前に事前研修などで少しスペイン語の勉強を集中的にやったのですが、そのときはLL教室が、非常に役に立ちました。授業の空き時間にはよく利用していたのですが、LL教室には英語はもちろんその他の言語の教材やビデオなどが豊富に取り揃えてあって、ネイティブの発音を聞くことで向こうに行く前はかなり免疫ができたのではないかと思います。

向こうに着いたばかりの時はまだスペイン語もうまく喋れず苦勞の連続でした。バスに乗って行き先を伝えても運転手さんが理解してくれない、ホームステイ先の家族に自分の気持ちを伝えたいけれど、どう言えばいいのかわからない、そんなことがしょっちゅうありました。でも、3ヶ月くらい経つと、だんだん向こうの人が何を言っているのか聞き取れるようになってきました。学校の授業も最初の頃は大変でした。先生は解らない部分があると、よく英語で説明したのですが、僕は、英語はあまり出来なかったのでアメリカ人とかがそれで理解できていたのがすごく悔しかったのを覚えています。今思うとそういう悔しさがあったからこそ、スペイン語を話せるようになろうとがんばれたのかも知れません。平日は勉強と宿題に追われ遊ぶ暇もなかったのですが、休日にはよく旅行に行ったりしました。メキシコは日本の5倍もの面積があり、各地方がそれぞれ違った面を見せてくれるし、マヤ文明の遺跡なども沢山あり、1年間では全部回ることには出来ませんでした。

1年間向こうで生活して、たくさんの貴重な体験ができたと思います。たくさんの友達、たくさんの思い出、語学の習得だけでなく、他にもたくさんのものを得ることができたと思います。僕は、4年生になったときに留学したので、帰ってきてからまた4年生をやる形になり卒業が一年伸びたのですが、ぜんぜん後悔などしていません。回りの友達はほとんど就職していますが、就職すると自分で好きに使える時間がなくなるので、もっと学生のうちに色々やっておけばよかったということをよく耳にします。みなさんも、もしやりたいことがあるのなら学生のうちに色々チャレンジしてみてはどうでしょうか。

経済学部 4年 右田州作

## 留学のすすめ(アメリカ)

私は専修大学長期交換留学プログラムを利用して、昨年の6月から今年の3月まで米国オレゴン州オレゴン大学に留学しました。私がそこで感じたり思ったことを、この場を借りて皆さんに伝えたいと思いますので、留学をしようと思っている人は参考にしてくれば幸いです。

留学すれば英語が何とかなると思われがちですが、英語がすぐに上達することはありません。日本でどれだけしっかりと英語を勉強してきたかが留学してから英語の上達スピードの重要なポイントになります。英語力を家にたとえますと、英語を何も勉強しないで留学すると英語力という家の土台造りから始めなければなりません。骨組みができていれば、壁や窓やドアの取り付けから始められます。土台や骨組みがないうちに壁や窓を取り付けることはできません。家を建てるのと同じ様に語学力を積み立てていくのにも順序があり、その作業工程においても時間がかかります。アメリカに着いてから、土台造りから始めるのか、骨組みからか、それとも壁や窓を取り付けるのから始めるのかということです。もし日本で英語の家を建てられたら、家具を入れて家の中をアレンジするという1歩上のレベルのことが留学中にできます。留学前にどれだけ英語力という家を建てることのできるかが、留学後の英語の上達につながると思います。



なぜこのように留学前の英語の勉強が重要かという、留学後にどうやってアメリカ人とコミュニケーションをとるのでしょうか。もちろん英語です。実際に留学していた大学に日本人が大勢いて、英語でコミュニケーションが十分にできず日本人同士かたまっている光景を何度も見ました。アメリカに行ってまで日本人の友達しかできないのは悲しいと思いませんか。私の英語はお世辞にも上手ではありませんが、アメリカ人の友達をつくることができ共同生活をしていたルームメイトもアメリカ人でした。その友達は日本に興味があったのです。日本人であり日本語を操れること、それは海外に行くと大きな武器になると思います。

経済学部 4年 伊東隆徳

## H15年度長期交換留学プログラム(学部生)第2期募集要項

第2期	英語圏	韓国語圏	中国語圏		モンゴル語圏	ドイツ語圏	フランス語圏
派遣校	ワカ大学 (ユージラド)	檀国大学 (韓国)	上海大学 (中国)	西钒大学 (中国)	モンゴル国立 大学 (モンゴル)	マルティン・ルター大学 ハレ・ヴィッテンベルク (ドイツ)	リュミエール・ リヨン第2大学 (フランス)
派遣期間	H15.2～ H15.11	H15.2～ H15.12	H15.2～H16.1		H15.2～ H16.1	H15.2 下旬～ H16.2 中旬	H15.2～ H16.1
派遣人数	2名	若干名					
願書提出 締切日	H14.10.4(金)						
選考日 (面接)	H14.10.12(土)						
選考日 (面接)	H14.10.19(土)						

\*7月中旬に説明会を予定しています。詳細については9号館5階の国際交流課へお問い合わせください。

## 私の留学体験記(フランス)

私は昨年の平成 13 年度の海外留学プログラムで提携大学であるリュミエール・リヨン第 2 大学に 1 年間留学していました。現地の学事歴の第 2 学期にあたる 2 月から 6 月までは大学の語学機関でフランス語を、そして夏期休暇をはさんで 9 月からは大学の正規の授業を受けました。正直のところ私の語学レベルでは正規の授業を完璧に理解するには無理がありましたが、その中でも自分なりの目標があったので、有意義に過ごせたように思えます。

半年間通った語学学校の成果も大きいのですが、人とコミュニケーションをとっていく上では、寮生活での経験が外国語を身につける上で非常によかったのではと思います。寮には国籍を問わず、フランス人、留学生の学生が集まります。部屋は個室でしたが、台所、洗面所を共有します。そこで友だちが増え、一緒に食事をしたり、買い物をしたり、そしていつも身近に接することができたので、若者がよく使うような口語や、話し方などを自然に知ることができました。これは決して学校では学ぶことができなかったのではと思います。わたしが言葉話す上で心がけていたのは、できるだけ外国人特有の訛りにならないよう自然な話し方で接することでした。その心がけだけですいぶん上達できたのではないかと思います。しかし初期の頃は聞き取り力がなく、大きな課題でした。せっかく現地の友だちができて、何を話しているのか聞き取れなく、ゆっくり言い直してもらうことが頻繁でした。そこで授業以外に学校の LL 教室へ通い初歩的な発音の練習から聞き取りの練習を 2 ヶ月ほど繰り返しました。すぐには成果を感じたわけではありませんが、次第に悩むことがなくなり、会話を楽しむことができるようになりました。

4 年次で留学するまでに約 3 年間フランス語の勉強をしてきましたが、留学先に行くまでに、もっとやっておくべきであったと痛感したことが、やはり聞き取り力の強化です。英語と違い学習期間も短く、日常なかなか耳にすることができません。積極的に LL 教材で慣れることが大切です。そして文法、語彙力も欠かせません。そうすれば留学先で「話す」力が早く上達していくのではないかと思います。

経営学部 4 年 田宮佑美枝



## H15 年度長期交換留学プログラム(学部生)第 3 期募集要項

第 3 期	英語圏						スペイン語圏
派遣校	ネブラスカ大学 リカン校 (米国)	サウサセック大学 (米国)	リノイ大学 アバナシオン校 (米国)	ルゴン大学 (米国)	ブリストル大学 (英国)	ダブリン大学 トリニティカレッジ (アイルランド)	バロアメリカナ 大学 (メキシコ)
派遣期間	H15.6 ~ H16.5			H15.6 ~ H16.3	H15.7 ~ H16.1	H15.7 ~ H16.3	H15.6 ~ H16.5
派遣人数	6 名	4 名	3 ~ 5 名		若干名		
願書提出 締切日	H15.1.8 (水)						
選考日 (面接)	H15.1.15(土)						
選考日 (面接)	H15.1.29(水)						

\* 6 月 28 日 (金) に説明会を開催します。詳細については 9 号館 5 階の国際交流課へ問い合わせてください。

# LLインフォメーション

## 新着教材

LL テープライブラリーに新規に入荷した教材を紹介いたします。

### コレクション フランス語シリーズ

【フランス語】

入門 初級 文法 話す 読む 聞く  
書く 語彙

フランス語でコミュニケーションをするための、最も基本的な能力を養うことを目指す「入門」編から、言いたい事をそれぞれの場合に合ったフランス語で書くことを目指す「書く」「語彙」編まで、コミュニケーションを主眼とする幅広い学習教材です。

### CD-ROM で学ぶ初級スペイン語

【スペイン語】

CD-ROM の利用で、スペインの様子を伝える美しい写真や音声が見聴できるほか、会話表現を映像により学ぶことができます。スペイン語の基本的な文法を、視聴覚を使ってたっぴり学べ、授業の復習や、自習にも適した教材です。

## NHK ラジオ英語講座が変わりました！

2002 年 4 月より下記の NHK ラジオ講座がリニューアル・スタートしました。

- ・「英会話入門」 「英語リスニング入門」  
(高校 1 年生～大学生レベル)
- ・「英会話」 「英会話レッツスピーク」  
(高校 3 年生～大学生レベル)
- ・「やさしいビジネス英語」 「ビジネス英会話」  
(大学生レベル)

語学力の向上をはかる秘訣は「根気よく毎日続けてトレーニングすること！」です。



*Let's begin!!*

## ボランティア通訳検定試験セミナー

- ボランティア通訳として活躍しよう!! -

下記のとおり LL 研究室主催のセミナーを開催します。「V 通検とはどんな試験でどのような内容か?」「受験対策はどうしたらいいのか?」「合格すると・・・」というような試験の概略を把握することができます。是非参加してください。

日程: 7 月 2 2 日 (月) 16 時 20 分 ~ 17 時 50 分

場所: LL 教室 C

費用: 無料

講師: 三浦 弘 (文学部教授)

受付: 7 月 8 日 (月) ~ 7 月 12 日 (金)

受付場所: 生田 LL 事務室 神田 LL 自習室

## LL 教室内での飲食・落書きは禁止です！

最近、神田・生田校舎の LL 教室や自習室で飲食している人をみかけます。初回授業で先生より説明があったように、LL 機器は水分や、食べかす・消しゴムのかすなどを嫌います。機器が故障すると授業や自習に支障をきたしますので、教室内での飲食は禁止となっています。また、机等への落書きはやめましょう！

## 編集後記

今回は留学特集としてまとめてみました。編集しながら自分の留学時代を思い返していました。皆さんも参考にしてください。(ほ)

皆さんからの声をお待ちしています

### 専修大学 LL だより 第 15 号

発行日 2002 年 6 月 25 日

(平成 14 年)

編集発行 専修大学 LL 研究室

室長 大森 洋子

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1

URL: <http://www.gkk.senshu-u.ac.jp>